科目ナンバリング	U-LAS05 20053 LJ74						
授業科目名<英訳>	都市空間論各論II Topics in Theory of Urban Space and Architecture II			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 前田 昌弘		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(各論)			使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	火3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

都市空間の発展と継承について、災害への備えと対応の計画という視点から講義する。

現代の都市を生きている私たちの多くは比較的安全で何気ない毎日を享受している。災害がそのような日常の崩壊だとするならば、災害を生き抜くために私たちは、都市の発展の末に獲得した安全や日常の価値を簡単にあきらめるべきではないし、災害への備えを怠るべきではない。一方で、自然の力は人間の想像をいとも簡単に乗り越え、私たちの身に突然降りかかってくる。災害から日常を回復し、次の災害に備えようとする営みを通じて人々は自らの行動を変容させ、それはやがて人が環境と共生する知恵や文化として定着していく。

本授業の前半「都市の災害から回復する」では、都市を生きる人々と災害の関係について、住まいと暮らしの回復を支える技術や諸制度、災害に際しての人々の心理や行動に関する諸理論を引きながら解説する。後半「都市のレジリエンスを高める」は、都市のレジリエンス（対応力、回復力）を引き出す技術や人々の営みについて、国内外の都市の実例や実践例を引きながら解説する。

[到達目標]

都市を生きる人々の災害への備えや対応に関わる基礎的な概念や理論、現行の技術や制度の特徴・課題について理解できるようになる。また、それらの基礎的知識をもとに、都市のレジリエンスを高める実践の意味について理解できるようになる。

[授業計画と内容]

■都市の災害から回復する

第1回　イントロダクション：＜災間＞の時代を生き抜くために
災害の定義と発生メカニズム、都市形成と災害の関係，災害が多発する社会の時代認識を概観し、災害において私たちが守るべき価値について議論する。

第2回　避難行動を阻む人的要因
災害特性ごとの避難行動、避難を阻害する心理的・社会的要因について解説する。

第3回　住民主体の避難所運営
災害時の避難所運営の課題について、日本と海外の比較や近年の災害における実例等を通じて理解する。

第4回　災害時の仮住まい
日本における災害時の仮住まい，応急仮設住宅制度，近年の事例とその進化について概観する。

第5回　復興住宅と生活再建
生活再建の基盤である住まいの復興について、災害復興公営住宅や住宅再建支援制度を中心として現状と課題を理解する。

第6・7回　グループワーク
これまでの内容を踏まえ災害時のシュミレーションを目的としたグループワーク（カードゲーム）を行い，受講生同士が議論する。

■都市のレジリエンスを高める

都市空間論各論II(2)へ続く↓↓↓

都市空間論各論II(2)

第8回　歴史都市の減災文化
　京都を含む，長い時間をかけて形成されてきた都市に蓄積された，災害と共生する知恵（減災文化）と都市空間の関係について解説する。
第9回　災害の記憶の継承
　災害の記憶が継承・忘却されるメカニズム、過去の否定的な経験を想起し続けることの意味について、A.アスマンの「想起の文化」等を引きながら議論する。
第10回　密集市街地の防災まちづくり
　密集市街地対策におけるジレンマ、防災まちづくりの意味について理解する。
第11回　スラムの住環境に学ぶ
　途上国のスラムの住環境が備える柔軟性や住民の臨機応変の知恵を理解する。
第12回　復興が地域にもたらす影響
　災害後の都市・地域再建や住民の再定住が10-20年という時間経過のなかでもたらす影響について理解する。
第13回　感染症対策と都市空間
　感染症と都市および近代都市計画の関係、そして新型コロナ禍が私たちの生活と社会に及ぼした影響について議論する。
第14回　中間レポート フィードバック
第15回　フィードバック

＊内容・順番は変更される可能性がある

[履修要件]

文系・理系を問わず、都市や建築、防災、災害復興に関心がある学生に受講して頂きたい。

[成績評価の方法・観点]

中間レポート（40%）と期末レポート（60%）によって評価する。

[教科書]

授業中に資料を配布する。参考文献は講義の中で適宜紹介する。

[参考書等]

（参考書）
前田昌弘『津波被災と再定住：コミュニティのレジリエンスを支える』（京都大学学術出版会，2016年）ISBN:978-4876988969
柳沢究・森田一弥・前田昌弘(編『住居計画入門： 住まいをめぐる文化・歴史・空間』（学芸出版社，2024年）ISBN:978-4761529093

[授業外学修（予習・復習）等]

予習は必ずしも必要ではないが、授業で配布する資料や紹介した参考文献について復習を行ったり、授業の内容を踏まえて日頃から都市やまちの安全について考察するなど、自分なりの関心に応じて学びを深めること。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワー（KULASISに掲示）の来室、メールでの相談を歓迎します。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部